

最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 13101104

性能分野	耐震性
大分類	耐震性の向上
中分類	強度型の補強 [壁面の補強 (RC 系)]
技術の名称	既存耐震壁の開口閉塞による補強 (壁面の補強)
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的小さい開口部分を現場打ちコンクリートにより閉塞し、耐震壁とする。 ・比較的開口が小さい場合に用いられる。 ・開口を完全に塞ぐため共用部分で用いられることが多い。 <p>手順：</p> <pre> graph TD A[既存仕上げ撤去] --> B[開口部周囲のコンクリートはつり *1] B --> C[ひび割れ補修 *2] C --> D[補強鉄筋建込み *3] D --> E[コンクリート打設] E --> F[仕上げ] </pre> <p>*1：開口部周囲のコンクリートをはつり取り、既存壁筋を露出させる</p> <p>*2：既存躯体に構造ひび割れがある場合、樹脂注入工法によりひび割れを補修する</p> <p>*3：1で露出させた鉄筋に、新設鉄筋を溶接する</p> <p>工期は仕上げを除き一構面 30 日程度</p> <p>耐震改修に利用される工法と適用される部位は建物の現状を踏まえて耐震改修を設計する中で決められる。</p>

